

高浜小児童

ミミズつてすごいんだ

生ごみ堆肥化仕組み学ぶ

高浜小児童が31日、同校でミミズを使い生ごみを分解・堆肥化するコンポストの仕組みを学んだ。児童はコンポスト製作やミミズの飼育に取り組み、町内のイベントで、環境へ配慮したごみ処理について住民に訴える。

同校児童がまちづくりグループ「高浜明日研究所」

と取り組むプロジェクト「コドモノ明日研究所」の一環。6年生は卒業までにコンポスト作りとごみを使ったアクセサリー製作に取り組む。6年生が卒業した後は、5年生が引き継ぐ。この日は5、6年生約60人が参加。コンポストを専門とする関西大先端科学技術推進機構地域再生センターの客員研究員・三浦紋人

コンポストのミミズを観察する児童=31日、高浜小



力について学んだ。教室に約2万匹のミミズが入ったコンポストが持ち込まれると、児童は恐る恐るコンポストの臭いをかいだり、ミミズを手に乗せ大きさを確認したりした。

コンポストについて「ミミズの家を青葉山の形にする」「ランプを飾り付ける」などユニークなアイデアを出していた。

(6年)は「高浜らしさをアピールできるコンポストを考えていきたい」と話した。

門とする関西大先端科学技術推進機構地域再生センタ

ーの客員研究員・三浦紋人さん(30)=大野市=から、

コンポストで飼育するミミズの特徴や生ごみの処理能